

令和5年度
第1回
学校評議員会



兵庫県立芦屋国際中等教育学校

目 次

I 次 第	1
II 名 簿	2
III 議 事	
1 21期生の状況	3
2 令和5年度の主な取組	5
IV 今後の予定	8

令和5年度
第1回
学校評議員会

次 第

- 1 開会あいさつ
- 2 学校評議員の委嘱
- 3 出席者紹介
- 4 授業見学
- 5 議 事
 - (1) 21期生の状況
 - (2) 令和5年度の主な取組
- 6 今後の予定

令和5年度
学校評議員会

名 簿

※学校評議員

名 前	所 属 等
河合 優年	武庫川女子大学 副学長
久保 敬	県立海洋体育館 館長
木場 修司	同窓会長
梶山 健	同窓会 副会長
鈴木 直子	元 PTA 会長
上田 多見子	元 PTA 会長
佐藤 俊輔	PTA 会長
川島 央	PTA 副会長

※本校出席者

名 前	分 掌
川崎 芳徳	校 長
藤田 美保	前期課程教頭
福畠 一良	後期課程教頭
上山 協子	事 務 長
大前 智也	総務部長
田中 房雄	学習支援部長
山下 弘巳	生活支援部長
明田 昌裕	1 学年主任
高橋 正明	6 年次主任

Ⅰ 21期生の状況

(1) 入学試験について

出願者 293名

受験者 271名

(2) 21期生の国籍について

国・地域		人数
日本国籍の生徒		47
外国籍の生徒	インドネシア	1
	ウクライナ	1
	韓国	1
	キルギス	1
	中国	4
	ネパール	4
	フィリピン	4
	ベトナム	1
	ボリビア	1
	ロシア	1
	カナダ・中国	1
日本と外国の重国籍の生徒	アメリカ・日本	7
	イタリア・日本	1
	カナダ・日本	1
	台湾・日本	1
	中国・日本	1
	ニュージーランド・日本	1
	フランス・日本	1
生徒合計		80

(3) 生徒の様子

令和5年度県立芦屋国際中等教育学校 国・地域別生徒数一覧

	国・地域	6年次	5年次	4年次	3年生	2年生	1年生	後期生計	前期生計	在校生計
	日本国籍の生徒	51	46	47	54	59	47	144	160	304
外国籍の生徒	イスラエル	1						1		1
	イラン					1			1	1
	インドネシア				1		1		2	2
	ウクライナ						1		1	1
	韓国	2		1	1	3	1	3	5	8
	キルギス					1	1		2	2
	台湾	1						1		1
	中国	10	8	10	7	5	4	28	16	44
	ニュージーランド		1					1		1
	ネパール		4		5	2	4	4	11	15
	フィリピン	1	3	4		2	4	8	6	14
	ブラジル				1				1	1
	ベトナム						1		1	1
	ボルビア							1	1	1
ロシア			1				1	1	2	
カナダ・中国							1		1	
日本と外国の重国籍の生徒	アメリカ・日本	3	4	3	6	2	7	10	15	25
	イギリス・日本			2		1		2	1	3
	イタリア・日本		1			2	1	1	3	4
	インドネシア・日本		1					1		1
	オーストラリア・日本			1	1			1	1	2
	オランダ・日本				2				2	2
	カナダ・日本		1		1	1	1	1	3	4
	韓国・日本	1	1	2		1		4	1	5
	カンボジア・日本			1				1		1
	ケニア・日本		1					1		1
	タイ・日本	1	1					2		2
	台湾・日本				1		1		2	2
	中国・日本			1			1	1	1	2
	ドミニカ共和国・日本		1					1		1
	ニュージーランド・日本						1		1	1
	パキスタン・日本	1						1		1
	ブラジル・日本		1					1		1
フランス・日本			1			1	1	1	2	
ペルー・日本	1						1		1	
マレーシア・日本	1		1				2		2	
ラトビア・日本	1						1		1	

[総括表]

日本国籍の生徒	51	46	47	54	59	47	144	160	304 (65.5%)
外国籍の生徒	15	16	16	15	14	20	47	49	96 (20.7%)
日本と外国の重国籍の生徒	9	12	12	11	7	13	33	31	64 (13.8%)
在籍生徒	75	74	75	80	80	80	224	240	464

2 令和5年度主な取組

I 学校経営の重点

1 スクール・ミッション

「RESPECT（尊敬） INTEGRATION（融和） CONTRIBUTION（貢献）」の理念のもと、言語や文化の異なる子どもたちの相互啓発により、共に生きる心を備え、地球規模での多文化共生社会を実現することのできる人材を育成する。

2 スクール・ポリシー

- (1) 育成をめざす資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）
 - ① 基礎・基本となる知識・技能を確実に身に付けさせる。
 - ② 自ら学び、考え、判断し、行動して課題を発見・解決する力を培う。
 - ③ 他者と円滑に意思の疎通が行えるコミュニケーション能力を育てる。
 - ④ 異なる文化を理解・尊重する態度など豊かな国際感覚を養う。
 - ⑤ 他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献する力を育む。
- (2) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
 - ① 自尊感情や自己肯定感をはぐくむとともに、豊かな共生の心を培うため、生徒の滞在国や出身国等の言語や文化の学習機会を提供する。
 - ② 生徒の日本語や日本文化の理解、語学力等に応じて6年間を通じた弾力ある教育課程を編成し、少人数指導や個別指導等による学習支援を行う。
 - ③ 生徒の達成感や充実感を引き出す取組を通して主体的な進路形成を支援するため、語学に関する資格取得を支援し、資格を単位として認定する。
 - ④ 生徒や保護者の多様な悩みを受け止め、命を大切にしたい心の教育を推進するため、教育相談・カウンセリングを充実し、学校と保護者の連携を図る。
 - ⑤ 国際交流を推進するため、文部科学省や国際交流協会、国際協力機構等と連携・協力し、オンライン交流も含めた多様な学習環境を構築する。
- (3) 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
 - ① 日本語や日本文化への理解が不十分な外国人児童で、平成30（2018）年4月1日以降に来日し、かつ日本国籍を有しない児童を募集する。
 - ② 海外から帰国した児童で、平成30（2018）年4月1日以降に帰国し、かつ継続して1年以上海外に居住した児童を募集する。
 - ③ 本校の教育目標を理解し、留学や海外での生活等を目指して、特に入学を希望する児童を募集する。

Ⅱ 各部の重点目標

Ⅰ 総務部

県立高校魅力アップ推進事業等、グローバル社会で活躍する人材を育成することを目標に掲げ、国際交流を進めている。世界教養を身につけ、コミュニケーション能力を養い、アイデンティティ（日本文化の知識と素養）を強化する。また、ICTを活用した交流も促進し、異文化理解に対する態度を醸成する。

令和5年度の主な取り組み

- アートマイルやホームステイ生徒の受け入れ等の国際交流
- 学校行事を通して地域との交流の活性化
- 学校の環境整備

Ⅱ 学習支援部

- (1) 「生きる力」をはぐくむ6年間の一貫した計画的、継続的な教育活動を推進する。
- (2) 生徒の多様性に対応した教育課程の編成、個に応じたカリキュラムの展開と研究を行う。
- (3) 6年間を見通した進路指導の計画・実施及び体験学習等を生かしたキャリア教育を推進する。あわせて、指導と評価の一体化の一層の推進を図り、授業改善に取り組む。
- (4) 教科や各部等と連携した適切な図書選定及び読書活動及び図書館利用の活性化を図る。
- (5) 効果的な日本語指導の推進及び教科指導力など専門性を高めるための研修の充実を図る。

令和5年度の主な取り組み

- 学習指導要領の改訂に伴う、新教育課程への移行を円滑に推進する。本校の教育目標を実現し、生徒の個に応じた教育課程の策定を進める
- 日本語指導の一層の充実、特に後期課程においても日本語能力が未熟な生徒への支援の在り方についての検討を行う。
- それぞれの目標に応じた、きめの細かい進路指導の実施

3 生活支援部

- (1) 命の大切さを教え、豊かな心や共に生きる心を育むための道德教育、人権教育を推進する。
- (2) 生徒の内面的理解に基づいた生徒指導の推進と組織的な教育相談・カウンセリング機能の向上を図る。
- (3) 好ましい人間関係や社会生活に必要なマナー・ルールなど社会性を培うための教育活動や指導の充実を図る。
- (4) 生徒会活動、部活動等など、生徒一人一人を尊重した主体的、自立的な活動を推進する。
- (5) 快適な学校生活が送れるように、校舎内外の整備や環境美化を積極的に推進する。
- (6) 日常の清掃や定期的な大掃除に主体的に取り組ませることで、美しい環境がこころ豊かな人間を育むことを体感させる。
- (7) ふるさと貢献・活性化事業におけるクリーンキャンペーン（地域清掃活動）を通じ、環境問題への理解と啓発を図る。

令和5年度の主な取り組み

- 今年度の人権教育の中心としてLGBTQの課題について学習する。
- 特別支援教育として昨年度よりすすめている、「通級による指導」を本年度も実施する。
- 後期課程でのスマートフォン(携帯電話)の日常的な取り扱いについて議論をすすめる。
- 生徒会活動について
 - ・新型コロナによる規制を撤廃した学校行事の実施
 - ・文化祭、スポーツ大会における国際高校との連携推進
 - ・市内3県立学校との連携推進
 - ・愛知、尼崎のサマーセミナーへの継続参加、及び芦屋マダンの取組推進
 - ・「小さな地球交流会」の継続開催
 - ・生徒会・PTA・同窓会による協議会の定期的な開催
- 地域清掃活動は、各学期末に後期生を中心に実施する。

今後の予定

1 第1回学校評議員会の概要送付

日 程 7月中旬

2 体育大会

日 程 9月27日(水)

場 所 県立芦屋国際中等教育学校 グラウンド

3 公開授業

日 程 11月中旬

4 卒業式

日 程 3月1日

場 所 県立芦屋国際中等教育学校 体育館

5 第2回学校評議員会

日 程 3月上旬

場 所 県立芦屋国際中等教育学校 応接室